

平成 30 年日本熱物性学会第 3 回 (2018-3) 役員会議事録

日時：平成 30 年 9 月 1 日（土） 役員会 14：00～16：40

場所：東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 5 階 501

出席者：(五十音順・敬称略)

上利泰幸(大阪産業技術研究所)	遠藤理恵(東京工業大学)
大石佑治(大阪大)	大久保英敏(玉川大学)
小原拓(東北大学)	川南剛(明治大)
長坂雄次(慶應義塾大学)	長野方星(名古屋大)
東之弘(九州大学)	宮崎康次(九州工業大学)
宮本泰行(富山県立大)	室町実大(産総研)
元祐昌廣(東京理科大)	桃木悟(長崎大学)
森川淳子(東京工大)	山下雄一郎(産総研)
山田修史(産総研)	山田純(芝浦工大)

審議事項：

上利会長より挨拶があった。

議 題：

(1) 前回議事録確認・・・・・・・・・・資料番号：18-4-1

遠藤評議員より上利会長より、資料 18-4-1 に基づき前回議事録の確認があり、了承された。

(2) 覚書確認・・・・・・・・・・資料番号：18-4-2

森川副会長より資料 18-4-2 に基づき覚書の確認があり、修正点についての説明があった。

- ・海外会員への送付は事務局が行う。
- ・＜4＞13. CD を 600 枚程度作成する。

(3)第 39 回日本熱物性シンポジウム準備状況・・・・・・・・・・資料番号：18-4-3

長野第 39 回シンポジウム担当より、シンポジウムの準備状況について報告がなされた。

- ・静岡大の佐野先生を実行委員に追加する。
- ・OS のオーガナイザは全員学会員である。
- ・JS1 は大瀧先生と桂先生が熱電学会側からのオーガナイザである。
- ・8 月 31 日時点で 153 件の申し込みがあった。キャンセルは 5 件あった。馬場先生の講演は、馬場先生の旅費と雇用関係で齟齬が生じないように配慮したためキャンセルとなったとの説明が山下評議員よりあった。
- ・論文投稿 Web システムは桃木理事の協力の下、運用できている。
- ・プログラムと CD は名古屋大学生協印刷部に依頼する。

・プログラム・論文集（冊子）・論文集（CD）の部数はは昨年状況を鑑みて、決定した。論文集（冊子）は250部とする。

- ・機器展示は12件、カタログ展示は1件、広告は4件である。広告はもう少し集めたい。
- ・ウイंकあいちの利用は12時までである。
- ・新旧顔合わせ会の場所は、ウイंकあいちになる可能性がある。
- ・キャンセルが出たため、プログラムを変更した。
- ・C311の◎を岩城様に変更する。

(3) 総会に関する事項・・・・・・・・・・資料番号：18-4-4-1~3

・ 平成30年学会賞候補者・名誉員顕彰者

長坂雄次表彰委員会委員長より資料18-4-4-1に基づき、平成30年論文賞2件、奨励賞2名について推薦があり承認された。なお、熱物性賞の推薦は無かったことが報告された。また、功労賞1名、名誉員2名の推薦があり、略歴が示され、承認された。略歴は総会タイプの書き方（今回の役員会要項P57-58）に修正を行う。

・ 第40期役員候補者について

上利会長より、資料17-4-4-2に基づき、第40期次期会長には平澤良男先生（富山大学）、副会長には須佐匡裕先生（東京工業大学）、監事には大村高弘先生（和歌山高専）を候補者として提案し、了承された。また次期評議員候補者が提示され、承認された。

・ 総会資料と進め方

森川淳子事務局担当副会長より、資料18-4-4-3に基づき、第39回シンポジウム期間中に開催される総会の資料案および進行表案が提示され、以下を修正の後に了承された。

- ・ 第1号議案 6.各種委員会活動については、表記を修正する。
- ・ 第3号議案 1.総会の場所はオフィスパーク名駅とする。
- ・ 第3号議案 1.総会は平成30年である。
- ・ 第3号議案および第5号議案に宮崎先生を入れる。
- ・ 第4号議案 [支出の部]のATPCへの交付金は、次に日本で開催されるときまで残しておく。来年の予算案作成の時に検討する。
- ・ 第4号議案 [収入の部]第38期決算の正・学生会員会費と前受金、寄付などの額が第2号議案と異なるが修正しない。
- ・ 元号は平成を用い、西暦を使用する。
- ・ 会長は平澤先生、副会長＜無任所＞は須佐先生、規約等整備担当を新担当、表彰委員会委員長は山田純先生とする。
- ・ シンポジウム会場は「オフィスパーク名駅・プレミアムホール&会議室 403ABC」である。

大久保現編集委員会委員長は次期顧問に就任するとの報告があった。

(4) 第40回日本熱物性シンポジウム準備状況・・・・・・・・・・資料番号：18-4-4

桃木第 40 回日本熱物性シンポジウム実行委員長より、第 40 回シンポジウムの準備状況について報告があった。京都電子からの実行委員就任のお願いを宮崎先生よりいただくことになった。懇親会案として、グラバー園が提示された。

(5) 第 41 回日本熱物性シンポジウムについて

山田純規約等整備担当より、熊野先生および麓先生（青山学院大学）を中心としての開催案が提案された。相模原であれば、JAXA の太刀川様のご協力も得られる。

(6) 40 周年記念事業について・・・・・・・・・・・・・・・・資料番号：18-4-6

宮崎担当理事より、資料 18-4-6 に基づいて報告があった。

- ・ DVD の送付は 2020 年 2 月に送付予定である。
- ・ 記念誌別冊(B5 サイズ)は 2019 年 10 月発行予定である。

(7) 各種委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・資料番号：18-4-7-1~4

・ 編集委員会

大久保編集委員長より、資料 18-4-7-1 に基づき報告があった。研究室紹介と書籍紹介は今後も続けていく。

次期編集委員長は日大の田中勝之先生、幹事は日大の田中三郎先生に引き継ぐ。特集号の担当、編集担当についても話し合っていく。

・ 表彰委員会

長坂表彰委員会委員長より、資料 18-4-7-2 に基づき報告があった。次期表彰委員会委員長は山田純先生（現規約等整備担当、芝浦工大）に交代する。

・ 熱物性値サービス委員会

山田委員長より報告があった。熱物性学会データベースについて、1-6 月期のアクセス数の報告があった。アクセス数は例年並み、ダウンロード数は減少している。

・ 広報委員会

元祐委員長より資料 18-4-7-3 に基づき報告があった。

- シンポジウム終了後に入会の勧誘を行う予定である。勧誘メールはシンポジウム実行委員長名で行う。
- 学会誌の研究室紹介を HP へも連動して掲載する。

・ 活動委員会

桃木企画担当理事より、資料 18-4-7-4 に基づいて、BPA に関する活動についての報告があった。36 名の応募があった。審査・実施方法は、前回と同様である。

・ 規約等整備委員会

規約等整備委員会委員長を山田雅彦先生（北大）に依頼したい。

(8) 研究分科会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料番号：18-4-7-1~4

- ・ 先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン
- ・ 高温融体物性と材料プロセス
遠藤評議員より資料 18-4-8-1 に基づき報告があった。
- ・ ふく射性質とその放射制御に関する研究会
宮崎 40 周年記念事業担当より資料 18-4-8-2 に基づき報告があった。
- ・ 断熱材分科会
代理として上利会長より資料 18-4-8-3 に基づき報告があった。

(9) 会費収納業務委託契約について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料番号：18-4-9

小原会員情報担当より、資料 18-4-9-1 に基づき報告があった。

特定非営利活動法人日本熱科学研究支援機構との契約書に修正があったため、更新して新しく契約を行うことが報告され、承認した。

(10) 事務局報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料番号：18-4-10-1~2

森川副会長より、資料 18-4-10 に基づき協賛報告および資料 18-4-10-2 に基づき会員異動報告があった。協賛の数は、再確認が必要である。

(11) その他

小原会員情報担当より、EU の GDPR (General Data Protection Rule) の適用に関する報告があった。

来年は名簿の発行を行う。3 月にはがきの送付、5 月に発行する。名簿管理システムについての意見交換があった。

以上